



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和8年4月30日

企業・団体名 キュアコード株式会社

代表者名 代表取締役 土田史高

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和7年4月1日（宣言日又は令和7年4月1日）～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 すべての人の心身の健康づくり支援に努める</p> <p>【実施状況】 ・自社で開発に携わっているヘルスケアアプリ等でウォーキングの推奨や社会貢献事業に関する普及活動を行った。 ・月に1回、血圧測定と記録を行い、自身の健康に向き合う機会を設けた。 ・歩数管理アプリのグループ機能を使い、社員間の歩数を共有し、歩く事への意識を促した。 ・1人1台ウェアラブル端末を貸与し、健康管理につながる環境を整備した。 ・健康づくりの取組み効果を検証するため社内アンケートを実施した。従業員の健康課題を明確化し、社内共有することで健康意識の促進を行った。</p>
2	<p>【目標】 住みやすいまちづくり、スマートシティの実現に寄与する</p> <p>【実施状況】 ・自社で開発に携わっているアプリの中で、自治体のまちなかで開催されるイベントと連携したイベントを行い、まちなかに足を運んでいただけるよう働きかけた。 ・「トヤマチミライ」に入会し、あおぞら会議への参加や、地元のスポーツ観戦を促す取組みを行った。 ・オフィスを中心市街地に移転し、徒歩・自転車・公共交通機関通勤の推奨を行った。 ・「個人の荷物も職場で受け取ろう！プロジェクト」に参加し、環境負荷の低減や物流効率化への貢献に対する取組みを行った。</p>
3	<p>【目標】 スタッフが働きやすい職場環境づくりに努める</p> <p>【実施状況】 ・毎週、全社員参加の全体会議を行い、会社全体の事や各プロジェクトの進捗状況の共有、改善方法を話し合うことで仕事の効率化とムダの排除を行った。 ・2024年に導入した「1時間単位の有給休暇制度」の利用が定着し、取得者が2割から9割に増加した。取得しやすい環境と仕事と生活の両立が可能な働き方になるよう実践した。 ・お誕生日会を開催し、ケーキやお菓子、ランチを食べながらお祝いする取組みをした。社員間のコミュニケーションを図る機会に繋がった。 ・女性の健康施策プロジェクト(経産省)に参加し、女性座談会を行いお互いの健康課題を話し合った。その中で生理休暇の有給化を求める声が多かったので月1日までの生理休暇の有給化を導入した。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。